



決算説明資料

1. 決算概要

- P4 :業績の概要
- P5 :業績の要因
- P6 :損益計算書の概要
- P7 :純利益の状況
- P8 :資産、負債及び純資産の状況
- P9 :キャッシュ・フローの状況
- P10:部門別の状況
- P11:既存店売上高前年比の状況
- P12:荒利率の状況
- P13:直貿商品の状況
- P14:スクラップ&ビルドの状況
- P15:立地別の状況
- P16:アパレル事業ブランド別の状況
- P17:雑貨事業ブランド別の状況
- P18:デベロッパー別の状況

2. 合併後の今期計画

- P20:通期計画の概要
- P21:上期及び通期数値計画①
- P22:上期及び通期数値計画②
- P23:両社合算した損益の推移
- P24:合併時の姿
- P25:両社の部門別売上実績
- P26:専門店の経営環境
- P27:経営基本戦略
- P28:目指す企業
- P29:合併後の戦略
- P30:今期の施策①
- P31:今期の施策②
- P32:当社のブランド
- P33:ブランドコンセプト

3. 株主様情報

- P35:株主様構成比
- P36:株主様還元策
- P37:お問合せ先



1. 決算概要

業績の概要



減 収 減 益

	前々期	前 期	当 期	前年比
売 上 高	29,893	29,902	27,978	93.6
経 常 利 益	532	1,212	675	55.7
純 利 益	▲571	288	▲190	—

(単位:百万円、%)

既存店売上高前年比 92.3%

荒利益率53.2% (前年増減▲0.2%) 営業費前年比96.2%

出 退 店 出店40店 退店32店

特別損失 586百万円

今期の特殊要因: 会計基準の変更及び震災による損失

業績の要因



外的要因

- ・震災による休業
- ・消費者嗜好性の変化
- ・天候不順(11月期、2月期)

内的要因

- ・アパレル事業の
マーケット対応力
- ・アパレル事業の
商品鮮度管理力

第1Q大幅減益

既存店売上前年比 84.8%

震災による休業及び消費者嗜好性の変化

第2Q増益

既存店売上前年比 94.8%

既存店の客数の回復、雑貨事業の業績向上

第3Q減益

既存店売上前年比 94.4%

11月期天候要因によるアウターの苦戦 (9月期:97.2% 10月期:96.6% 11月期90.2%)

第4Q減益

既存店売上前年比 96.0%

2月期天候要因による春物苦戦

(12月期:97.4% 1月期:98.0% 2月期:90.3%)

損益計算書の概要



	前期 金額	前期 売上比	金額	売上比	前年比
売上高	29,902	100.0	27,978	100.0	93.6
売上総利益	15,982	53.4	14,877	53.2	93.1
営業費	14,813	49.5	14,246	50.9	96.2
営業利益	1,168	3.9	631	2.2	54.0
経常利益	1,212	4.0	675	2.4	55.7
純利益	288	1.0	▲190	—	—

(単位: 百万円、%)

純利益の状況



純利益 288 百万円 ⇒ ▲190 百万円

今期の特殊要因による特別損失 435百万円

資産除去債務:342百万円、 災害による損失:92百万円

営 業 利 益	1,168 百万円 ⇒ 631 百万円		
経 常 利 益	1,212 百万円 ⇒ 675 百万円		
特 別 損 失	419 百万円 ⇒ 586 百万円		
資産除去債務	—	⇒	342 百万円
減 損 損 失	316 百万円 ⇒ 37 百万円	減損店舗数	82店 ⇒ 17店
除 却 損 失	56 百万円 ⇒ 31 百万円	閉店店舗数	35店 ⇒ 32店
		改装店舗数	19店 ⇒ 18店
災害による損失	—	⇒	92 百万円

資産、負債及び純資産の状況



自己資本 6,008百万円⇒ 5,730百万円 47.0%
長短借入金 1,100百万円⇒ 1,100百万円

	2011年2月期	2012年2月期	増 減
総 資 産	12,542	12,199	▲343
商 品	2,502	2,607	105
投資その他資産 ※主に保証金	6,210	5,905	▲305
負 債	6,534	6,469	▲65
長 短 借 入 金	1,100	1,100	—
純 資 産	6,008	5,730	▲277

(単位:百万円)

キャッシュ・フローの状況



フリーキャッシュ・フロー 1,488百万円⇒ 285百万円

投資CF 差入保証金回収による収入の減少 ▲64百万円

	2011年 2月期	2012年 2月期
営業キャッシュ・フロー	1,598	455
投資キャッシュ・フロー	▲110	▲170
財務キャッシュ・フロー	▲1,072	▲87
現金及び現金同等物の増減額	415	197

(単位:百万円)

部門別の状況



売上高構成比 アパレル事業67.7% 雑貨事業 31.1% その他 1.2%

	売上高	構成比	単純前年比
ギャルフィット部門	17,223	61.6	90.6
ライムストーン部門	1,357	4.9	85.2
ヴィサリア	370	1.3	101.7
アパレル事業合計	18,951	67.7	90.4
シーベレット部門	5,990	21.4	94.8
イルーシー300	1,234	4.4	166.9
インセンス部門	1,189	4.3	94.8
木糸土	280	1.0	104.0
雑貨事業合計	8,693	31.1	101.3

※ネット、その他手数料は含まれておりません。

(単位: 百万円、%)

※ギャルフィット部門: ギャルフィット、リシェリエ、トスチ、Re-J、ジニーの数字となっています。

※ライムストーン部門: ライムストーン、リメディオの数字となっています。

既存店売上高前年比の状況



既存店売上高前年比 92.3% 上期 89.8% 下期 95.2%

	3月	4月	5月	第1 四半期	6月	7月	8月	第2 四半期	上期	
売上高	80.2	84.8	88.8	84.8	92.5	96.2	95.5	94.8	89.8	
客数	82.4	86.9	89.8	86.6	94.5	92.8	93.2	93.6	90.2	
客単価	97.3	97.6	98.9	97.9	97.9	103.6	102.5	101.3	99.6	
	9月	10月	11月	第3 四半期	12月	1月	2月	第4 四半期	下期	年間
売上高	97.2	96.6	90.2	94.4	97.4	98.0	90.3	96.0	95.2	92.3
客数	95.2	94.4	88.7	92.5	94.7	94.3	88.4	93.2	92.8	91.3
客単価	102.1	102.3	101.7	102.0	102.9	103.9	102.1	103.0	102.6	101.1

(単位: %)

荒利率の状況



荒利率 53.4% ⇒ 53.2%

＜要因＞値下率の増加、第1Q震災被害、第3・4Qアウター苦戦

第1Q ▲1.8% 第2Q +1.3% 第3Q ▲0.3% 第4Q ▲0.1%

	2008年 2月期	2009年 2月期	2010年 2月期	2011年 2月期	2012年 2月期
アパレル 事業部	50.9	52.6	53.5	54.2	53.7
雑貨事業部	48.3	50.0	48.7	50.0	50.9
全 社	50.8	52.4	52.6	53.4	53.2

(単位: %)

直貿商品の状況



直接貿易構成比 15.1% ⇒ 9.8%
直接貿易荒利率 51.7% ⇒ 52.7%

		10年2月期		11年2月期		12年2月期	
		売上 構成比	荒利 益率	売上 構成比	荒利 益率	売上 構成比	荒利 益率
キヤルフィット	直 貿	12.9	52.7	15.1	51.7	9.8	52.7
	直 貿 以 外 の P B	53.4	55.8	47.8	56.6	36.8	54.6
	P B 合 計	66.7	55.2	62.9	55.4	46.6	54.2
	PB外合計	33.3	50.2	37.1	52.4	53.4	53.0
ライムストーン	P B 合 計	65.5	53.5	61.4	55.5	52.5	55.1
	PB外合計	34.5	51.9	38.6	52.1	47.5	55.7

(単位: %)

スクラップ & ビルドの状況



期末店舗数 純増 8店

出店拡大 38店 ⇒ 40店 退店縮小 35店 ⇒ 32店

	2008年 2月期	2009年 2月期	2010年 2月期	2011年 2月期	2012年 2月期
出 店	71	87	14	38	40
退 店	31	45	54	35	32
純 増	40	44	▲40	3	8
期 末 店 舗 数	569	613	573	576	584
店 舗 投 資 額	1,823	1,726	286	670	646

※2009年2月期の純増には、営業譲受2店舗を含みます。

(単位: 店数、百万円)

立地別の状況



都心、モール型出店拡大

40店中 34店

		2010年 2月期	2011年 2月期	2012年 2月期
都市型	店舗数	34	37	45
	(構成比)	5.9	6.4	7.7
モール型	店舗数	115	134	153
	(構成比)	20.1	23.3	26.2
GMS型	店舗数	424	405	386
	(構成比)	74.0	70.3	66.1

(単位: 店数、%)

アパレル事業ブランド別の状況



ドスチ、リシェリエ、ヴィサリア 出店拡大

	出店	退店	業態 転換	純増(減)	期末店舗
ギャルフィット部門	19	12	3	10	337
リシェリエ	4	0	2	6	8
ドスチ	7	0	4	11	39
Re-J・ジニー	4	1	0	3	46
ギャルフィット他	4	11	▲3	▲10	244
ライムストーン部門	1	2	▲1	▲2	28
リメディオ	1	0	▲1	0	11
ライムストーン他	0	2	0	▲2	17
ヴィサリア部門	3	0	0	3	5
アパレル事業合計	23	14	2	11	370
複合店	1	7	▲2	▲8	47

雑貨事業ブランド別の状況



イルーシー300 出店拡大

	出店	退店	業態 転換	純増 (減)	期末店舗
シーハレット部門	14	6	0	8	135
IL300	13	0	0	13	28
シーハレット他	1	6	0	▲5	107
インセンス部門	0	4	0	▲4	27
木糸土部門	2	1	0	1	5
雑貨事業合計	16	11	0	5	167

デベロッパー別の状況



流通系デベロッパー以外に出店が拡大

	出店	退店	増減	期末 店舗数	店舗 構成比
イ オ ン G	13	8	5	171	29.3
ユ ニ ー G	1	9	▲8	122	20.9
セ ブ ン & ア イ G	3	2	1	46	7.9
ダ イ エ ー	0	3	▲3	19	3.2
フ ジ	4	0	4	23	3.9
イ ズ ミ	3	1	2	21	3.6
他	16	9	7	182	31.2
合 計	40	32	8	584	100.0



2. 合併後の今期計画

ご注意

皆様方に、合併後の計画についての理解を深めていただくために、P20、P21の前期の実績および今期計画における前年比は、(株)パレモおよび(株)鈴丹両社の単体実績を合算した数字で表現してあります。

通期計画の概要

※ 前期実績および前年比は合併前の両社合算数値となります



	前 期	通期計画	前年比
売 上 高	42,434	42,070	99.1%
経 常 利 益	1,102	1,300	118.0%
純 利 益	▲429	1,800	—

(単位: 百万円)

既存店売上高前年比 96.8%

荒 利 益 率 改 善 0.7%

出 退 店 の 計 画 出店 40店 退店 30店

純利益 旧(株)鈴丹の将来減算一時差異に伴う
繰延税金資産計上により大幅増加

上期及び通期数値計画①

※ 前期実績および前年比は合併前の両社合算数値となります



	前年上期 実績	上期 計画	前年比	前年通期 実績	通期計画	前年比
売上高 (既存店前期比)	21,706 92.1	21,900 98.4	100.9	42,434 94.7	42,070 96.8	99.1
売上総利益 (売上比)	11,660 53.7	11,900 54.3	102.1	22,876 53.9	22,980 54.6	100.5
営業費 (売上比)	10,863 50.0	10,880 49.7	100.2	21,844 51.5	21,660 51.5	99.2
営業利益 (売上比)	796 3.7	1,020 4.7	128.1	1,032 2.4	1,320 3.1	127.9
経常利益 (売上比)	840 3.9	1,000 4.7	119.0	1,102 2.6	1,300 3.1	118.0
当期純利益 (売上比)	▲246 —	1,800 8.2	—	▲429 —	1,800 4.3	—

(単位: 百万円、%)

上期及び通期数値計画②



	前年上期 実績	上期 計画	前年比	前年通期 実績	通期計画	前年比
売上高 (既存店前期比)	14,259 89.8	21,900 98.4	153.6	27,978 92.3	42,070 96.8	150.4
売上総利益 (売上比)	7,589 53.2	11,900 54.3	156.8	14,877 53.2	22,980 54.6	154.5
営業費 (売上比)	7,044 49.4	10,880 49.7	154.5	14,246 50.9	21,660 51.5	152.0
営業利益 (売上比)	545 3.8	1,020 4.7	187.2	631 2.2	1,320 3.1	209.2
経常利益 (売上比)	564 4.0	1,000 4.7	177.3	675 2.4	1,300 3.1	192.6
当期純利益 (売上比)	▲114 —	1,800 8.2	—	▲190 —	1,800 4.3	—

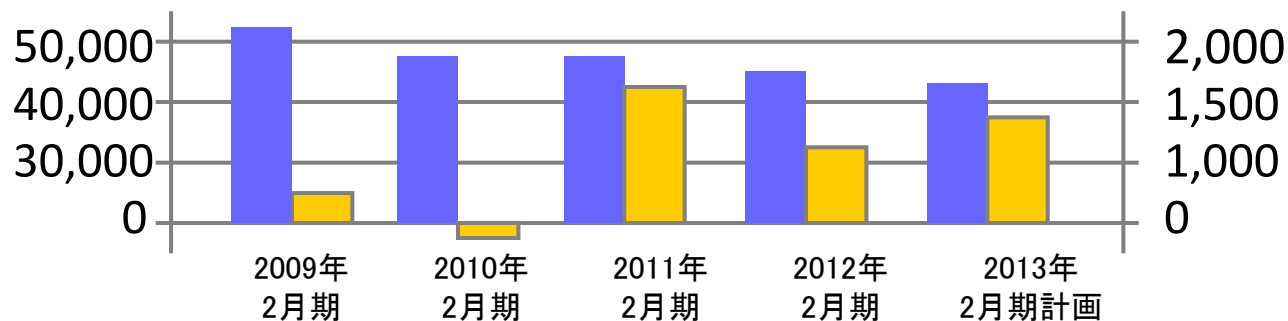
(単位: 百万円、%)

両社合算した損益の推移



■ 売上高
■ 経常利益

単位: 百万円



項目	2009年 2月期	2010年 2月期	2011年 2月期	2012年 2月期	2013年 2月期計画
売上高	51,716	45,907	45,027	42,434	42,070
営業利益	363	▲134	1,499	1,032	1,320
経常利益	471	▲140	1,559	1,102	1,300
純利益	▲470	▲1,921	484	▲429	1,800
出店	102	35	43	47	40
退店	60	89	83	60	30
期末店舗数	911	857	817	804	814

※ 各期実績は合併前の両社合算数値となります

合併時の姿



(2012年2月実績)

	売上	営業利益	経常利益	純利益
(株)パレモ	27,978	631	675	▲ 190
(株)鈴丹	14,455	400	427	▲ 238
合算	42,434	1,032	1,102	▲ 429

	借入金	純資産	総資産	発行株数
(株)パレモ	1,100	5,730	12,199	7,260千株
(株)鈴丹	3,000	238	6,053	11,215千株
合算	4,100	5,968	18,252	12,051千株

(単位:百万円)

両社の部門別売上実績



(2012年2月実績)

	部門	売上	構成比
(株)パレモ	アパレル部門	18,951	67.7%
	雑貨部門	8,693	31.1%
	その他	333	1.2%
	計	27,978	(65.9%)
(株)鈴丹	アパレル部門	13,733	95.0%
	その他	722	5.0%
	計	14,455	(34.1%)
合 算	アパレル部門	32,684	77.0%
	雑貨部門	8,693	20.5%
	その他	1,055	2.5%
	計	42,434	(100.0%)

(単位:百万円、%)

専門店の経営環境



- ・少子高齢化
- ・消費税、社会保障費負担増への懸念
- ・消費者嗜好変化
「あこがれ」⇒『等身大』
「虚飾」⇒『本物』 「物」⇒『事』

- ・新設商業施設の減少
- ・都心型、大型SCへの活性化拡大
- ・外資専門店の出店拡大
- ・郊外SCの競合環境緩和



寡占化された競合環境
優勝劣敗の環境

経営基本戦略



目標 永続的安定成長
基本戦略 多核化ブランド戦略

成長戦略

3つのシーズ

今日	郊外	「主力事業の最強化」
明日	都心、モール	「都心ブランドの成長拡大」
将来	中国	「新規事業の育成」

両足事業基盤

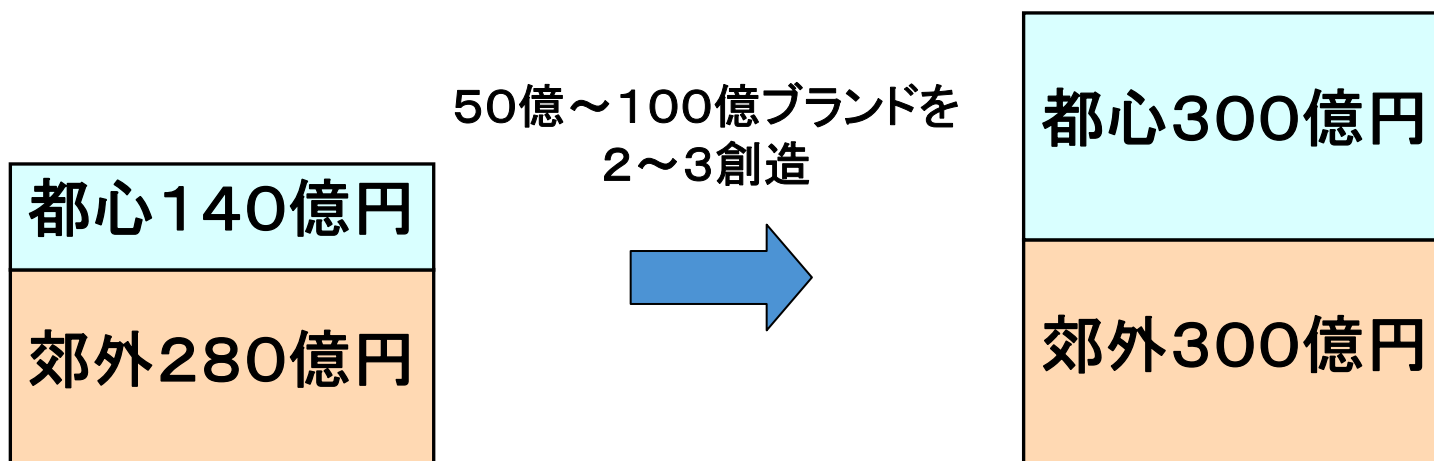
郊外と都心 ⇒ 日本と海外

目指す企業



売上高600億 経常利益30億を目指す

	合併時の 規模	→	今期の 計画	→	目指す 指標
売上高	420億円		420億円		600億円
経常利益	11億円		13億円		30億円
純利益	▲4億円		18億円		15億円



※今期 合併による事業基盤の整備、増強に注力

合併後の戦略



＜収益拡大＞

郊外基盤の安定収益を基に都心、モール型の成長ブランドに積極投資

＜収益性向上＞

規模のメリットを活かした独自の商品企画開発力の確立

郊外 既存店の収益性安定及び向上

＜GF,SZ,SB＞

競合緩和 両社の競争から共存へ
店舗毎の品揃え及びブランド再編集
安定的にスクラップ&ビルド

都心、モール 全社収益拡大

＜RC,DC,VS,RM,SI,木,HH,IL＞

都心、モール型SCの活性化拡大 集客力拡大
成長ブランドへ集中投資 50億～100億ブランドを2～3創造
都心、モール型出店強化 ブランド力強化 ＜MD、VP、SP＞

商品企画開発力の強化 高収益化

直接貿易 10%⇒30%

今期の施策①



既存店の収益性向上

- ・店舗の活性化 600店舗中80店舗（下記2項目重複あり）
 - 重複店舗の品揃え変更及びブランド変更 約50店舗
 - VP強化 VPリニューアル含む改装 約50店舗
- ・マーケティングMD力強化
 - ディビジョン制 各ブランド毎の機動性強化
 - 商品企画会議変更 全体会議⇒各ブランド毎
 - 全体の商品情報共有の強化
 - 短期MDの強化 5%⇒10%
- ・商品鮮度管理強化
 - 商品管理部の専任化とメンバーの拡充
 - 店頭在庫の10%削減 値下げ削減及びVP高度化
- ・販促強化
 - 雑誌及びポスター強化、ショッパーの変更、実需期のセール販促

今期の施策②



都心、モールブランドの成長、拡大

- ・ブランド力の強化

ディビジョン制 商品、VP、販促などを一体的に運営
毎週の企画会議の充実

商品企画開発力の創造

- ・直接貿易の強化 10%⇒15%

店舗数拡大 500店舗対象
専属部署担当の設置 両社の人材、メーカー背景の活用

統合による営業経費の低減

- ・合併前に計画的に準備、実施済み

レジ、システムの統合統一、事務所の統一、外部契約の統一解除
新規投資負担<管理(本社、営業)経費の低減

- ・販売備品、物流などの更なる見直し

(株)ビックス(100%子会社)の成長基盤拡大

- ・前期実績

売上 255百万円、経常利益 14百万円、純利益 8百万円
総資産 160百万円、負債 25百万円、借入 0百万円、純資産 134百万円

- ・物流の対外取引の拡大

当社のブランド



アパレル事業：8ブランド 雑貨事業：5ブランド

	都市型	モール型	GMS型
アパレル事業	Visalia DOSCH S.Δ.C. Re-J remix of jinnee Li Meduo	Rechlerie DOSCH S.Δ.C. Re-J remix of jinnee Li Meduo	GAL FIT SUZUTAN
雑貨事業	木々土 Hare no hi metughda from 木々土 metughda illusie300	Hare no hi from 木々土 metughda Siebelet illusie300 INCENSE WITH COMPLETE GOODS	Siebelet INCENSE WITH COMPLETE GOODS

ブランドコンセプト



アパレル事業	Recherie	RC	少し大人で上品な着こなしを目指す女性へ、スイートでエレガントなコーディネート提案します。
	DOSCH	DC	強めで個性的な着こなしを好む女性に最新の遊び心あるスタイルを提案します。
	Visalia	VS	いつでもかわいくおしゃれでありたい女の子にトレンド感を取り入れた SWEET MIX STILEを提案します。
	<i>Li Meduo</i> next destination	RM	自分のスタイルをもったポジティブな女性に向けて、質感に拘った上質な着こなしを提案します。
	S. X ² . C.	SI	甘めとシャープなスタイルを適度なバランスでMIXさせたスタイルを、ラグジュアリー感覚あふれる空間で提案します。
	GAL FIT	GF	最新トレンドからベーシックまでをバランスよくMIXし、リアルで等身大のスタイリングを提案します。
	SUZUTAN	SZ	エレガンスからカジュアルまでさりげなくトレンドを取り入れたアイテムをコーディネートで提案します。
	Re-J remix of jinne	RJ	洗練されたカジュアルスタイルを中心に大きいサイズのお客様にむけてハイセンスなコーディネートと丁寧な接客で提案します。
雑貨事業	木 糸 土 metugh?do	木	木、糸、土の素材を生かし「無理なく無駄なく」シンプルで飽きのこないアイテムを雑貨を中心に提案します。
	Hare no hi from 木 糸 土 metugh?do	HH	モノが溢れる現代で、ひとつひとつの身の回りの品を、シンプルで手づくりの温もりを求める大人の女性に雑貨とアパレルのMIXで提案します。
	illusie300	IL	インテリア、キッチンなど様々な遊び心あふれる雑貨を300円のワンプライスで提案します。
	Siebelet	SB	毎日を楽しくさせる、トータル提案型雑貨SHOPです。親子で、ワクワク楽しく過ごせる空間を提案します。
	INCENSE WITH COMPLETE GOODS	IC	レディース、メンズそして服飾雑貨～トラベルケースまでバッグとその関連商品をトータルで提案します。



3. 株主様情報

株主様構成比

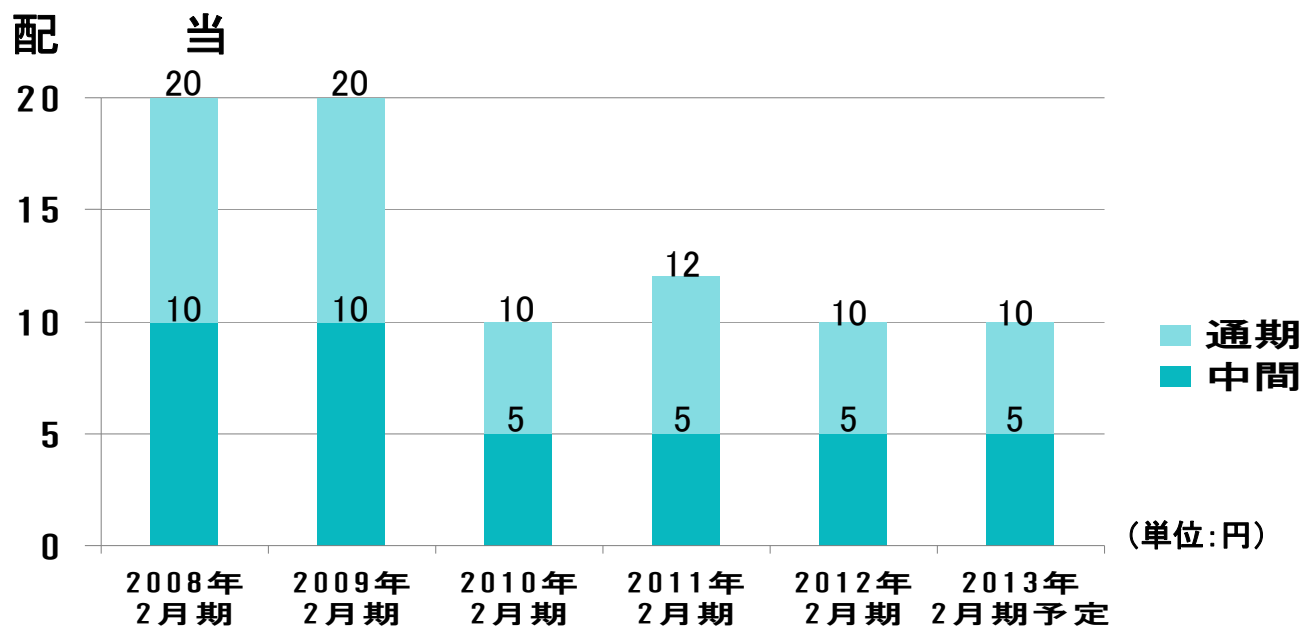


ユニー株式会社 持株比率

合併前 パレモ63.40% 鈴丹60.32% ⇒ 合併後62.18%

	2010年2月20日			2011年2月20日			2012年2月20日		
	株主数		株式数	株主数		株式数	株主数		株式数
個人株主・他	3,641名	98.8%	31.0%	3,191名	98.8%	31.1%	3,062名	98.8%	31.0%
国内法人	26名	0.7%	63.6%	24名	0.7%	63.5%	21名	0.7%	62.2%
機関投資家	17名	0.4%	5.3%	16名	0.5%	5.4%	12名	0.4%	5.3%
外国法人・個人	2名	0.1%	0.1%	0名	0.0%	0.0%	5名	0.1%	1.5%
合計	3,686名	100.0%	100.0%	3,231名	100.0%	100.0%	3,100名	100.0%	100.0%

株主様還元策



株主優待

300株以上1,000株未満 = 1,000円のクオカード

1,000株以上 = 5,000円相当の果物

< 2012年2月20日現在 >

お問合せ先



- ・住所 愛知県稲沢市天池五反田町1番地
- ・TEL 0587-24-9771
- ・FAX 0587-24-9710
- ・担当者 <IR担当役員>
常務取締役 管理担当 永井 隆司
E-MAIL T-nagai@palemo.co.jp

・この資料には、株式会社パレモの現在の計画、確信及びその業績に関する将来の見通しが含まれています。
・これらの見通しは、将来の業績を完全に見通したものであるとは限らず、将来の業績に影響をあたえるリスクや不確実な要素が含まれています。実際の業績は、様々な要素により、これらの見通しとは異なる場合があります。